

令和元年10月7日14時00分
資料配布 近畿地方整備局

災害に備え情報通信機器と災害対策用機械を組合せた 防災通信訓練を実施します。

～10月11日(金)和歌山下津港～

近畿地方整備局では、頻発する豪雨災害や南海トラフ地震に備え、災害情報の迅速かつ確実な収集・提供が可能となるよう、防災通信訓練を実施します。

本訓練では、対策本部車により現地対策本部を設営し、情報通信機器(Ku-SAT、i-RAS、公共BBなど)を活用して情報通信環境の構築を行い、被災現場の映像情報などを共有するとともに、現地と整備局災害対策本部等との間でテレビ会議を行います。

実施概要は以下のとおりとなります。

1. 日 時 令和元年10月11日(金) 13:00～15:00

2. 場 所 和歌山下津港(和歌山県和歌山市)

3. 訓練内容

1) 現地対策本部の設営

2) 情報通信環境の構築及び映像伝送

※ 概要は別紙「防災通信訓練 全体概要図」を参照願います。

4. 報道取材 取材を希望される場合は、10月10日(木)12時までに別紙「取材申込書」により申し込みをお願いします。

なお、取材可能場所は現地対策本部設営箇所及びその周辺とさせていただきます(別紙「防災通信訓練 位置図」を参照願います。)

5. その他

当日は、気象状況により訓練内容の変更又は延期する場合があります。

<取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ
和歌山県政記者クラブ、和歌山県政放送記者クラブ、
和歌山県地方新聞記者クラブ

<問合せ先> 近畿地方整備局

防災情報調整官 高橋 玲仁(たかはし れいじ)(内線 3133)

防災室長 木村 佳則(きむら よしのり)(内線 2151)

防災室長補佐 鎌田 洋一(かまた よういち)(内線 2154)

TEL: 06-6942-1141(代表) 06-6942-1575(直通)

取材申込書

取材を希望する場合は本書にて、近畿地方整備局防災室にお申し込み下さい。

申込みは、10月10日（木）12：00迄にお願いします。

なお、FAX送信後、必ず受信確認をお願いします。

申込み先（FAX番号）：06-6944-4741

<取材にあたっての留意事項>

- ・取材にあたっては、自社腕章を着用下さい。
- ・取材可能箇所は現地対策本部及びその周辺とします。
- ・現地では、係員の指示に従って下さい。

<問合せ先>

国土交通省 近畿地方整備局 防災室

電話 06-6942-1575

FAX 06-6944-4741

会社名及び部署名

取材者 氏名（全員の氏名を記載願います。）

①（代表者）

②

③

④

※駐車予定車両の台数 台

連絡先（代表者の電話番号） 当日連絡が取れる携帯電話番号をお願いします。

上記のとおり取材を申し込みます。

近畿地方整備局 防災室 あて

防災通信訓練 位置図(現地対策本部及びその周辺)



防災通信訓練 情報通信機器の概要

主な通信装置

衛星通信車



衛星通信装置を搭載した車両で、災害現場での映像を送受信したり、電話を確保して災害現場の状況を連絡します。

衛星通信車

(機器仕様概要)

回線数 : 映像 1 回線、電話 3 回線
 周波数 : 14/12GHz 帯
 伝送容量 : 384 k ~ 2Mbps より選択
 必要人員 : 車両運転手、設営者
 その他 : 設営操作に無線資格不要

Ku-SAT (衛星小型画像伝送装置)



車両が入れない場所、地上通信が困難な場所において、衛星回線を用いて災害現場等での映像を伝送します。

Ku-SAT
(衛星小型画像伝送装置)

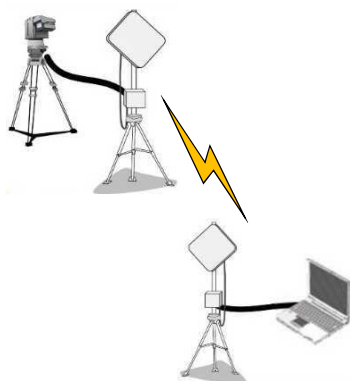
(機器仕様概要)

回線数 : 映像 1 回線、電話 1 回線
 周波数 : 14/12GHz 帯
 伝送容量 : 384 k ~ 2Mbps より選択
 必要人員 : 機材運搬含め設営者数人
 その他 : 設営操作に無線資格不要
 アンテナは南東方向に向け設営

可搬型長距離対向通信システム (i-RAS 【5GHz 帯無線アクセスシステム】)



使用事例



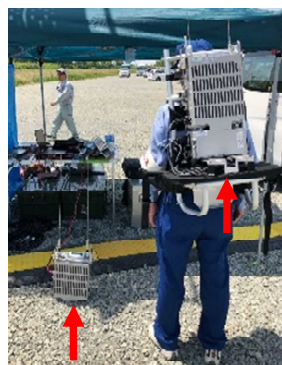
アンテナ 2 台で 1 組

アンテナの対向通信で約 30km 程度離れたところから、映像や音声を配信することが可能となります。配信先で半径 100m 程度の範囲で無線 LAN を構築することができ、広域進出拠点や自治体庁舎など現地対策拠点に執務室と同様の環境を構築することができます。

(機器仕様概要)

周波数 : 5 GHz 帯
 伝送容量 : 10M ~ 35Mbps (距離等により可変)
 伝送距離 : 約 30km
 その他 : 映像、音声ほかデータ通信可能
 設営操作に資格必要

公共 BB (公共ブロードバンド移動通信システム)



アンテナ 2 台で 1 組



肩掛けベルトあり
(持ち運び可能)

5km 程度の範囲を移動しながら映像・音声を伝送することが可能です。障害物による遮蔽、雨や雪などの天候の影響を受けにくいことから、車両で移動が困難な被災箇所など、移動しながら現地映像の伝送配信が可能です。

(機器仕様概要)

周波数 : 200MHz 帯
 伝送容量 : 1 M ~ 10Mbps (距離等により可変)
 伝送距離 : 約 5km
 重量 : 付属品入れて 15kg 程度 (1 台)
 その他 : 映像、音声ほかデータ通信可能
 設営操作に資格必要

防災通信訓練 災害対策用機械の概要

対策本部車

災害発生時に、災害現場における情報収集、応急対応の対策検討や現場指揮などの現地対策本部機能をもつ車両です。会議用設備や情報収集設備などを備えています。



情報収集機器、会議スペースなどを装備しています。

諸元

拡幅時の車両寸法

全長8,790mm 全幅4,540mm 全高3,650mm

拡幅時の室内面積 20m²

室内高 1.9m

情報収集設備 専用無線、テレビ、ラジオ、ビデオ、
会議用設備 会議テーブル、ホワイトボード
その他搭載機能 プリンタ、コンセント、エアコン、寝袋
電源(発動発電機) 搭載型 6.25KVA×2台



照明車

夜間における災害現場の応急復旧作業、監視等の照明として使用します。

照明装置は地上20mの高さから現場を広く照らすことが出来ます。また、照明装置部のカメラで災害現場の監視も行えます。



100m先でも新聞が読める明るさです。

諸元

照明装置 主灯 2KW×6灯 (メタルハライドランプ)
最大照明高 20.3m
連続照明時間 26h

カメラ 画素数 38万画素 倍率 15倍

電源 発動発電機(搭載)
定格出力 25KVA
燃料 110L(発電機)+100L(車体)

